

## 2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月9日

上場会社名 株式会社 シーズメン  
 コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三河 宏彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理情報システム課長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	1,854		9		11		26	
2019年2月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	9.15	
2019年2月期第2四半期		

2019年2月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成していたため、2019年第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	2,114	1,432	66.8	489.69
2019年2月期	2,145	1,449	67.0	498.87

(参考)自己資本 2020年2月期第2四半期 1,411百万円 2019年2月期 1,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,820	0.2	50	141.2	45	281.5	5		1.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	2,882,800 株	2019年2月期	2,882,800 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	36 株	2019年2月期	36 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	2,882,764 株	2019年2月期2Q	1,943,507 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、それを背景とした個人消費も緩やかな拡大が続いておりますが、米中貿易摩擦や消費税増税等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、「既存事業のさらなる強化」をテーマに、販売面と商品面において下記の通りの施策を行い、業容の拡大を目指してまいりました。

#### ①販売面

当期の販売方針として「お客様第一」を掲げ、お客様に選んでいただくような接客・店づくりに努めて、顧客満足度を高め、結果として販売につなげることを進めて参りました。

店頭においてはお客様を積極的に呼び込むことで入店率向上に、店内においてはお客様と積極的かつ丁寧なコミュニケーションととることで購入率向上に、レジにおいてはお客様にクーポンを配布することで再来店率向上に繋げることができました。

#### ②商品面

##### (METHOD)

・前期に一部店舗で成功した「カップル展開(VMD・商品をカップル構成にする)」をMETHOD全店舗に展開し、女性客の増加を狙いました。特に、改装店では内装を女性客でも入りやすい明るい店装にすることで相乗効果を狙い、結果、売上増となりました。

・売れ筋のカジュアルブランド商品(ロゴTシャツ等)や、前期より業務提携によって強化しているサーフ系ブランド商品等を適時展開することで、機会損失のない販売ができました。

##### (流儀圧搾)

・流儀圧搾の和柄専門店という定義を広げ商品展開を多彩にすることで、より多くのお客様を引き付けることができ、売上増加につながりました。

##### (両ブランド共通)

8月に秋冬物のブランド新作を投入することで、閑散期においてもお客様を誘引でき、売上の増加につながりました。

以上の施策を行った結果、当第2四半期累計期間における全社の売上高前年比は101.4%(個別決算ベースの比較数値)、既存店売上高前年比は107.5%と前年を上回ることができました。

また、店舗展開につきましては、当第2四半期累計期間における出店は2店舗、退店は3店舗で、当第2四半期会計期間末の店舗数は「METHOD」21店舗、「流儀圧搾」16店舗、「AGIT POINT」1店舗、「G-LAND」1店舗の合計39店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は18億54百万円、営業損失は9百万円、経常損失は11百万円、四半期純損失は26百万円となり、売上高は好調だったものの、販売費及び一般管理費の一時的な増加により利益段階では損失計上の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は16億54百万円となり、前事業年度末に比7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少8百万円、商品の減少65百万円、未収入金の減少9百万円、売掛金の増加92百万円によるものであります。固定資産は4億58百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に長期貸付金の減少16百万円、敷金及び保証金の減少44百万円、有形固定資産の増加25百万円等によるものであります。

この結果、総資産は21億14百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は4億54百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは主に1年内償還予定の社債の減少25百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少9百万円、未払法人税等の減少16百万円、設備関係支払手形の減少9百万円、資産除去債務の減少9百万円、買掛金の増加62百万円、未払費用の増加25百万円、未払消費税等の増加18百万円等によるものであります。固定負債は2億28百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に社債の減少20百万円、長期借入金の減少11百万円、リース債務の減少11百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は6億82百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は14億32百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失26百万円及び新株予約権の増加8百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、営業活動により59百万円増加、投資活動により9百万円増加、財務活動により77百万円減少し、8億43百万円となり、前事業年度末と比較して8百万円の減少となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は59百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純損失12百万円に加え、減価償却費等の内部留保の合計19百万円、たな卸資産の減少65百万円、仕入債務の増加58百万円、未払費用の増加25百万円等による資金の増加、売上債権の増加92百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は9百万円となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収55百万円、貸付金の回収16百万円等による資金の増加、新規出店及び店舗改装のための有形固定資産の取得35百万円、退店に伴う原状回復工事17百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は77百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出21百万円、社債の償還による支出45百万円、リース債務の返済11百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月10日付「2019年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,628	843,241
売掛金	109,949	202,081
商品	596,444	531,370
前払費用	16,280	16,582
1年内回収予定の長期貸付金	33,300	33,300
未収入金	34,804	24,860
その他	4,402	2,912
流動資産合計	1,646,810	1,654,348
固定資産		
有形固定資産		
建物	351,360	329,762
減価償却累計額	△331,762	△289,062
建物(純額)	19,598	40,699
工具、器具及び備品	162,335	152,203
減価償却累計額	△155,332	△140,430
工具、器具及び備品(純額)	7,002	11,773
リース資産	4,539	4,539
減価償却累計額	△4,539	△4,539
リース資産(純額)	-	-
建設仮勘定	943	293
有形固定資産合計	27,544	52,766
無形固定資産		
ソフトウェア	4,226	4,592
無形固定資産合計	4,226	4,592
投資その他の資産		
投資有価証券	28,684	28,542
長期貸付金	66,700	50,050
長期前払費用	5,341	3,591
敷金及び保証金	363,696	319,338
投資その他の資産合計	464,422	401,521
固定資産合計	496,193	458,881
繰延資産		
社債発行費	2,159	1,280
繰延資産合計	2,159	1,280
資産合計	2,145,163	2,114,510

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	46,428	42,371
買掛金	64,836	127,763
1年内償還予定の社債	90,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	41,590	32,270
リース債務	23,081	23,416
未払金	1,018	378
未払費用	82,048	107,109
未払法人税等	39,568	23,322
未払消費税等	-	18,837
賞与引当金	5,200	5,760
設備関係支払手形	13,931	4,859
資産除去債務	9,731	-
その他	4,983	3,240
流動負債合計	422,417	454,328
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	50,990	39,160
リース債務	39,978	28,186
役員退職慰労引当金	2,083	2,083
資産除去債務	132,697	132,097
繰延税金負債	27,213	26,616
固定負債合計	272,963	228,143
負債合計	695,380	682,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	788,148	788,148
資本剰余金	899,296	899,296
利益剰余金	△259,565	△285,939
自己株式	△27	△27
株主資本合計	1,427,851	1,401,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,293	10,195
評価・換算差額等合計	10,293	10,195
新株予約権	11,637	20,365
純資産合計	1,449,782	1,432,039
負債純資産合計	2,145,163	2,114,510

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	1,854,464
売上原価	994,111
売上総利益	860,353
販売費及び一般管理費	869,595
営業損失(△)	△9,242
営業外収益	
受取利息	752
受取配当金	159
その他	65
営業外収益合計	977
営業外費用	
支払利息	2,131
社債発行費償却	878
その他	31
営業外費用合計	3,041
経常損失(△)	△11,306
特別損失	
減損損失	1,453
特別損失合計	1,453
税引前四半期純損失(△)	△12,760
法人税、住民税及び事業税	14,166
法人税等調整額	△553
法人税等合計	13,613
四半期純損失(△)	△26,373

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△12,760
減価償却費	7,417
長期前払費用償却額	444
無形固定資産償却費	496
社債発行費償却	878
株式報酬費用	8,727
減損損失	1,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	560
受取利息及び受取配当金	△389
支払利息	2,131
売上債権の増減額(△は増加)	△92,131
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,073
未収入金の増減額(△は増加)	△397
その他の資産の増減額(△は増加)	1,137
仕入債務の増減額(△は減少)	58,870
未払費用の増減額(△は減少)	25,057
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,599
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,190
小計	89,162
利息及び配当金の受取額	389
利息の支払額	△2,076
法人税等の支払額	△28,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,390
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△35,735
無形固定資産の取得による支出	△863
敷金及び保証金の回収による収入	55,564
敷金及び保証金の差入による支出	△8,218
貸付金の回収による収入	16,650
資産除去債務の履行による支出	△17,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,829
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△21,150
社債の償還による支出	△45,000
リース債務の返済による支出	△11,457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,386
現金及び現金同等物の期首残高	851,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	843,241

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2019年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。